

4 持続可能な個性あふれるまちづくりの推進について

【国土交通省】

《提案・要望事項》

本格的な人口減少・高齢化社会の到来を迎えるなか、安全で暮らしやすい市街地を形成し、持続可能な個性あふれるまちづくりを推進するため、次の事項に取り組むこと。

- 1 都市における交通渋滞の解消、安全で快適な都市空間の確保を図るため、都市計画道路の整備を着実に推進するための予算を確保すること。
- 2 都市公園について、既存施設の長寿命化対策や、利用者ニーズにあった機能向上に資する施設整備を推進するための予算を確保すること。
- 3 市町村が進める都市再生整備計画事業や、立地適正化計画の策定のための調査について、計画的、持続的に実施できるよう必要な予算を確保すること。
- 4 狭あい道路の解消による安全な住宅市街地の形成を図るため、狭あい道路の整備に対する支援制度を延長・拡充すること。
- 5 空き家等対策に係る支援策の要件緩和や拡充を図ること。また、官民連携のリノベーションを推進するため、人材バンクの創設や普及啓発のための補助要件を緩和すること。
- 6 第36回全国都市緑化信州フェアの開催について、格段の支援をいただきたいこと。

【長野県の現況・課題】

1 都市計画道路について

- (1) 交通の円滑化、安全な通学路の確保等が急務であり、県内33箇所都市計画道路等の整備を重点的に推進中。
- (2) 必要な財源が不足し、供用開始が遅れる等の支障が生じている。

2 都市公園について

- (1) 都市公園においては、老朽施設の安全対策とともに、魅力向上とにぎわいのある公園づくりを求められている。
- (2) 県および県内17市町村において公園施設老朽化対策を含む都市公園の整備を行っているが、措置率が約4割と低く財源確保が課題となっている。

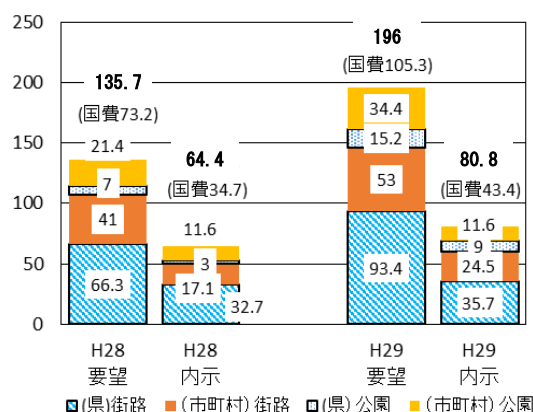
3 都市再生整備計画事業について

県では、市町村が取り組んでいるまちづくりに対して、積極的な支援を行っている。都市再生整備計画事業等は、社会資本整備総合交付金等の配分が不足しており、一部の地区で計画の見直しを余儀なくされている。

4 狭あい道路整備について

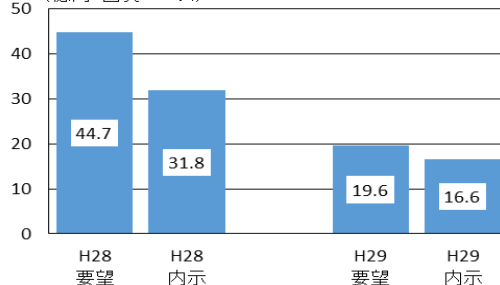
狭あい道路整備等促進事業は平成30年度を期限とされているが、県内には、安全性を確保する必要性の高い狭あい道路が数多く存在しており、引き続き、国の支援が必要な状況にある。

(億円) 交付金予算の状況



都市再生整備計画事業予算の状況

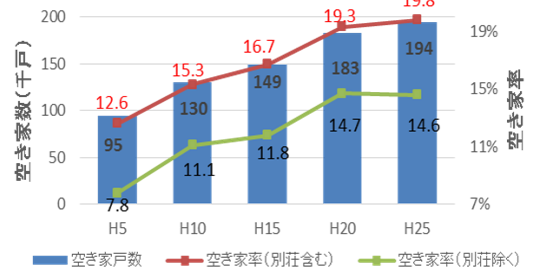
(億円: 国費ベース)



狭あい道路整備等促進事業

5 空き家対策について

- (1) 空き家等の増加が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている。
- (2) 対策に係る国の補助金は、単年度事業費の下限額が国費ベースで1,000万円に設定されており、予算規模が小さい小規模自治体では活用が困難な状況。
- (3) 専門人材に関する情報の不足や、普及啓発事業の補助対象が全国規模のセミナーに限られていることも課題。



- 県内の空き家は年々増加。平成5年からの20年間で約2倍
- 別荘を含む空き家率は、全国で2番目に高い

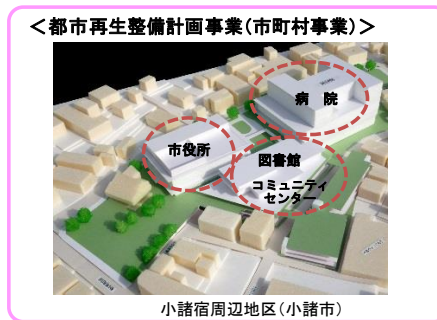
6 全国都市緑化信州フェアについて

第36回全国都市緑化信州フェア(H31.4.25~6.16)について、平成29年6月に実行委員会を設立し、現在実施計画を策定しているところ。フェア開催にあたって、メイン会場の整備を平成30年度末までに完了させる必要がある。

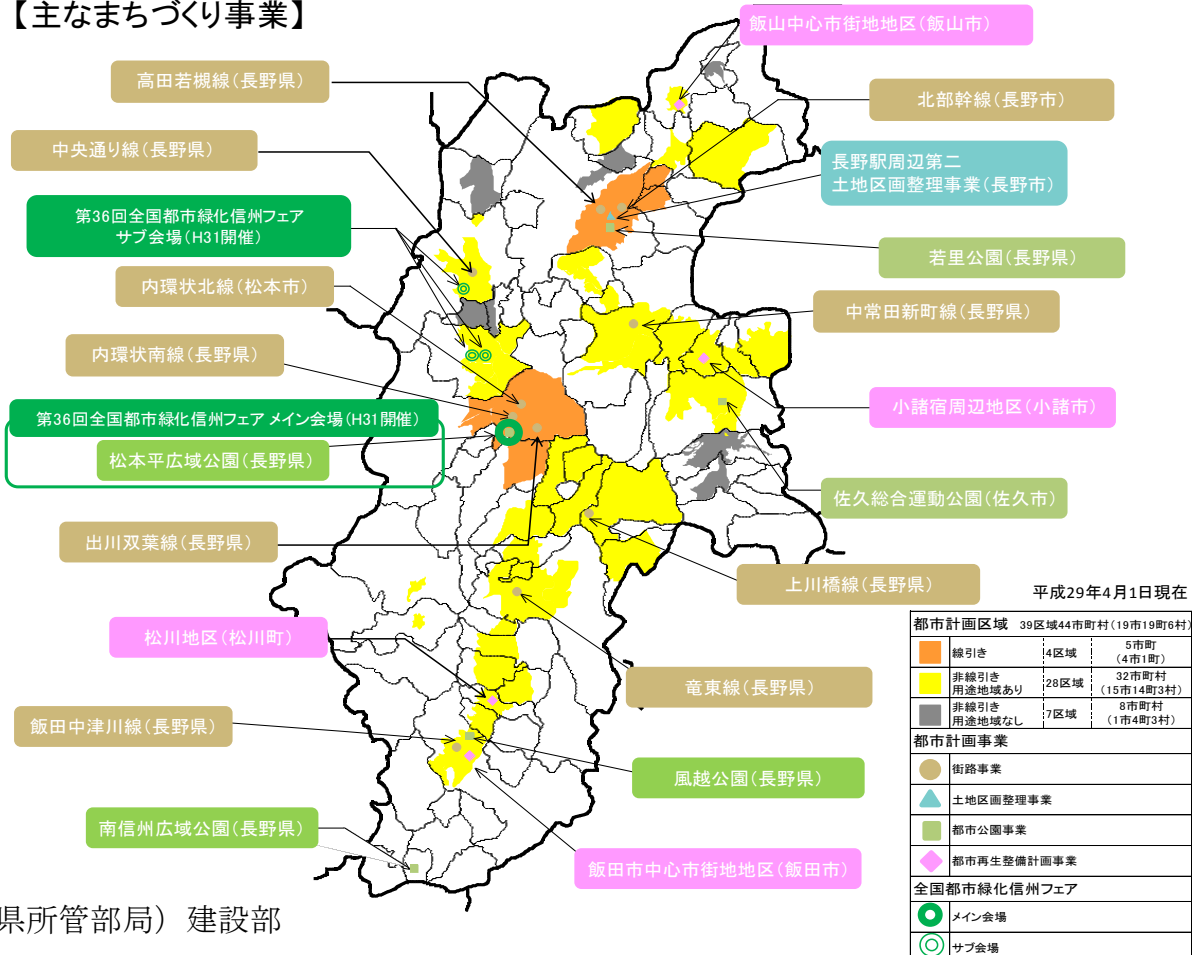
【空き家対策総合支援事業】

国補助金下限 1,000万円	市町村一般財源等 1,000万円
-------------------	---------------------

市町村は最低でも年間2,000万円以上の事業を組まなければ当補助金を活用できない
※H29県内活用予定=1自治体のみ



【主なまちづくり事業】



(県所管部局) 建設部